

県立宮古病院 がん相談支援センターの今後の取り組み

1. がん相談支援センター場所の設置
(案) 女性外来に「がん相談支援センター」と表示
2. がん相談支援担当者
 - * がん研修に参加したメンバーで院内委員会を設置し、
「がん相談支援センター」の運営「患者会」のサポート
体制の取り組み
3. 相談室にインターネットの設置
4. 相談担当の配置
 - * 認定看護師の活用
1回/週(午後)の相談・・・具体的取り組みは、来年1月より
5. 患者会「ゆんたく会」の支援
 - * 第4木曜日 午後6時30分～7時30分
 - * 臨床心理士によるピアカウンセリング
6. 啓蒙活用
 - * 院内掲示による、がん相談支援センターの案内掲示および
パンフレットの作成・・・・・・12月より取り組み予定
 - * 他機関への案内
病院・診療所への「がん相談支援センター」の案内及び
パンフレット配布・・・・・・1月
7. 患者対象勉強会開催

平成23年11月4日
地域連携室 前川

平成23年度 がん診療に関わる医療従事者研修実績(沖縄県立宮古病院)

■がん医療従事者研修一覧

平成23年4月～平成23年9月末現在

	研修名	職種	研修期間	研修目的・概要	開催日程	開催場所	参加人数	実施主体
1	がん性疼痛看護認定看護師教育課程	看護師	半年間	がん看護認定看護師の育成	H23.5下旬～H23.12	神奈川県	1	日本看護協会
2	がん看護専門分野研修 緩和ケアコース	看護師	4日間	がん看護実践の均てん化充実を図る	H23.9	東京都	1	国立がん研究センター
3	日本細胞臨床学会	臨床検査 技師	3日間	細胞診断のスキルアップを 図る	H23.5	福岡県	1	日本細胞臨床学会
4	日本ホスピス・在宅ケア研究会	医師・ 看護師	2日間	がんや在宅ケアなどの医療や 福祉の諸問題について考える	H23.7	宜野湾市	2	日本ホスピス・ 在宅ケア研究会
5	がん登録研修会	診療情報 管理士	1日間	がん登録に際しての知識の習 得を図る	H23.8	西原町	1	琉球大学医学部附属病院
6	がん看護研修Ⅰ	看護師	1日間	がん診療に従事する看護師に対 し、高度で専門的な知識及び技術 を習得させ、がん看護実践の充実 を図る	H23.9	南風原町	1	沖縄県看護協会
7	がん看護研修Ⅱ	看護師	1日間	がん診療に従事する看護師に対 し、高度で専門的な知識及び技術 を習得させ、がん看護実践の充実 を図る	H23.9	南風原町	1	沖縄県看護協会
8	がん看護研修Ⅲ	看護師	1日間	がん診療に従事する看護師に対 し、高度で専門的な知識及び技術 を習得させ、がん看護実践の充実 を図る	H23.9	南風原町	1	沖縄県看護協会

県立八重山病院におけるがん相談支援センターの進捗状況について

1) がん相談支援センターとしての名称を掲げ、がん相談をおこなっているのか。
地域の方へがん相談室の周知をおこなっているのか。

- ・がん相談支援センターの名称を10月から病院玄関先と地域連携室に掲げています。
- ・地域へのがん相談支援センターの周知は院内掲示と添付のチラシを配布しているところです。
(資料1)
- ・おきなわがんサポートハンドブックの患者配布の院内での流れを9月、医局会議で説明し協力依頼しました。(資料は県立中部病院、なは市立などを参考)
(資料2)
- ・院内のがん支援体制づくりとして、がん診療連携協議会各部会にかかわっているメンバーを中心に院内がん支援連絡会として、小委員会を持ちました。

沖縄県がん支援病院としての八重山病院の現状と課題について

支援病院として、がん相談と地域住民にむけての啓蒙、院内研修やそのフィードバックを行い支援病院としての役割を果たしていくことを共通認識し院内で連携していく
目的で下記について話し合い。

- ①がん相談支援センターの設置について
- ②相談件数の報告義務について
- ③5 大がん連携パスについて
当院の役割について、パスの患者受け入れについて
当院で1例確認しているのみ、連携室をとおしていれば把握できるが
知らないケースもありえる。
- ④八重山病院におけるがん治療について
ここまではできるという地域へのPRが必要。

2) 設置後のがん相談件数(7月、8月、9月分)と地域の方の反応

※記録が無ければ平均でも構いません。

- ・相談件数は前回の報告と変化ありません。

がん治療に関する相談	窓口 約 10 件 /年間	電話 約 10 件 /年間
------------	------------------	------------------

3) 開設後の実務者の人数と雇用形態・・・非常勤or常勤職員の配置か、専従職員かどうか医療従事者の配置について

- ①地域連携室では相談室として 構造上プライバシーの保てる部屋の確保が難しい。
別箇所を時間帯を設置し、対応していく。(9:00~11:30・14時~16時)
- ② Nrの配置は2人です。

4) 今後のみ通しについて

①開設後の人員配置人数確保の見込みや変更など現在ありません。

SWの嘱託配置が今年4月に1人なされたばかりです。

採用形態が嘱託の現状でSWの応募がない離島の現状があり、次年度相談員の育成など見通しはわかりません。増員と改善の要請は行っています。

5) がん患者会への今後の取り組みについて

①毎月 第3（土） 14時～16時 患者ゆんたく会を開催、

地域の病院、診療所、施設へ毎月発行している連携室だよりで患者会開催のお知らせをしています。

先日は沖縄県のがん対策推進条例骨子案に対する意見をまとめました。（資料3）

いしがき島患者・家族ゆんたく会 開催一覧

第12回 2011.8.20	バナナ 公園	7 人	平良秀之議員に参加いただき、沖縄県がん対策推進条例の離島支援について 石垣市9月議会への取り組み依頼 患者必携：がんになったら手にとるガイド（DVD）
第13回 2011.9.17	バナナ 公園	9 人	9.10 宮古島タウンミーティング 参加（新垣夫妻、伊良皆）しての報告など
第14回 2011、10.15 10.22	バナナ 公園 連携室	5 人 4 人	・ウォーキングの予定、雨のため中止。次年度の予定と開催時の会員の連絡について ・沖縄県がん対策推進条例骨子案の勉強とゆんたく会としての意見まとめ

2011.10.27 八重山病院 地域連携室



がん相談支援センターのご案内



県立八重山病院

1 がん相談支援センターとは

患者さんやご家族、地域の方々から がんに関する悩みや不安、的確な情報などについての相談を受け、支援する窓口です。県内には6箇所あります。(琉大、那覇市立、中部、北部地区、宮古、八重山)

2 どのようなことが相談できますか

- (1) がんといわれたけど、その不安や悩みなどの相談ができます。
- (2) がんについて、どの診療科で、どこの病院を受診したらよいのかなどの相談が出来ます。
- (3) がんの診療や治療について、もっとくわしい情報がほしいなどの相談が出来ます。
- (4) がんの医療費がいくらかかるのかを知りたいなどの相談が出来ます。



3 だれでも相談できますか

患者さんやそのご家族並びに地域の方々など、どなたでも相談できます。

4 個人情報 及びプライバシーの保護について

ご相談内容は個人情報の保護に万全を尽くすよう努めています。

5 予約が必要ですか

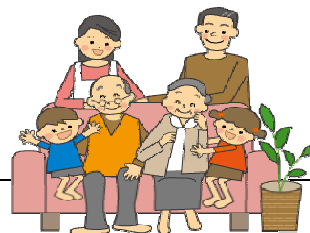
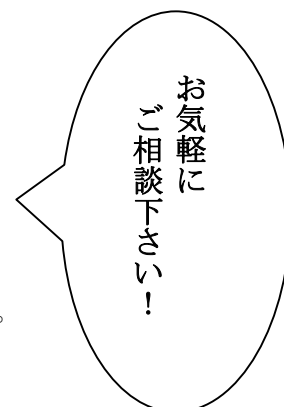
予約は不要です。
電話相談や直接来院されてもよろしいですので、どうぞお気軽にご連絡下さい。

6 がん相談支援のスタッフはどのように なっていますか

がんの相談は、看護師、ソーシャルワーカーなどで おこないます。

7 料金はどのようになっていますか

がん相談支援の料金は 無料となっております。



がん相談支援センターの問い合わせ先

- ◇窓口 地域連携室・医療福祉相談
- ◇場所 八重山病院 1階
- ◇受付 月～金(祝日、慰霊の日及び年末・年始を省く) 9時～12時・午後1時～4時
- ◇電話 098083-2525 (代表) 内線 280.281 直通 098083-2288 F A X 098093-2553



- ◇ 地域連携室は いしがき島がん患者・家族ゆんたく会(毎月第3(土) 14時～16時)の連絡先となっております。

八重山病院における患者必携の 配布方法 について

- ①おきなわがんサポートハンドブック
- ②患者さんのしおり
- ③「患者必携：がんになったら手にとるガイド」3つ折りリーフレット
(及び 評価アンケートの依頼と回収について)

配布予定数 : 300 冊
配布診療科 : 外科・耳鼻科・産婦人科・脳神経外科・内科
対 象 者 : 当院でがんと診断された患者又は他院からの紹介患者
(新患に限らず医師が必要と判断した患者および家族)

配布方法：①外来において 資料1の手順で、主治医からの配布依頼を受け、地域連携室(社会福祉士・看護師)が 直接 手渡す。

- ・そのとき 相談室の案内やアンケートの依頼をします。
- ・配布依頼のタイミングは主治医のタイミングにお任せします。
- ・「患者必携：がんになったら手にとるガイド」・・・
当院互助会売店で購入できること (¥1260)
- ・内容に対する 問い合わせ は国立がん研究センター
の患者必携サポートセンターを紹介する。

対応時間	平日(土日を除く) 午前10時～午後3時
電話	0570-02-3410

- ・「患者必携：がんになったら手にとるガイド」を活用していただくために
の DVDは連携室 でご覧になることが 出来ます・・・。

②入院患者についても 主治医からの配布依頼を受けて 地域連携室
(社会福祉士・看護師)が 直接 手渡す。

アンケート回収箱の設置： 各病棟のデイルーム
入院受付、地域連携室 に設置

配布手順

医師：「患者必携 受けとり用紙」
に I D を押す



看護師に連絡
(I D がまだなら N r が押す)



受け取り先 連絡場所
(地域連携室 P H S 611.281.280) に連絡



地域連携室スタッフが地域連携室で
①おきなわがんサポートハンドブック
②患者さんのしおり
③「患者必携：がんになったら手にとるガイド」
ご案内を患者に渡します。



「患者必携 受けとり用紙」を
地域連携室いきの B O X に入れる。

I D :

患者必携受け取り用紙

受け取り先 連絡場所

地域連携室：P H S 611

内線 281.280

へ連絡してください

連絡後、この用紙は地域連携室いきBOXに入れて下さい。

(資料3)

沖縄県がん対策推進条例（仮称）骨子案に対する意見提出様式

氏 名： 新垣 憲男 （いしがき島患者・家族ゆんたく会代表）

住 所： 石垣市大川 372-2

電話番号： 098-082-3723

該当する 項・行	御意見内容
23 行	(3) 地域特性のなかで「離島すべて」「本島北部」という言葉を入れてほしい。
25. 30. . 34 行	「責務」に関して、より具体的な内容にしてほしい。 例：大阪府 がん対策推進条例の第5条～19条のように 項目が分かりづらい 5 事業所の責務はとてもよいと思います。
38 行	Ⅲ 県が行うべき施策のなかに「(5) 離島（宮古、八重山）・北部 の患者支援」をいれてほしい
47 行	・ 連絡会で挙げられた意見がはいっていないのはどうしてでしょう うか？
総合的な意見	・ アクションプランの評価をちゃんと反映させた条例にしてほしい。

お問い合わせ先
沖縄県福祉保健部医療対策班 住所：〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 県庁 3 階 電話：098-866-2169 FAX：098-866-2714 電子メール： aa023001@pref.okinawa.lg.jp 医務課ホームページ： http://www.pref.okinawa.jp/imu_kokuho/

その他

1 委員からの意見にありますように「離島及び僻地等移住する地域にかかわらず等しく医療を受ける体制の整備は強く望みます。離島 石垣又は与那国などは移動するだけで運賃がかかります。その負担は患者にとって大きい。軽減をはかってほしい。

2 医療従事者育成

専門看護師育成といっても八重山のようなところから 5 年以上の臨床経験があり、専門的知識を身につけるために中央へ 6 ヶ月でるという状況が可能な職員がなかなかいない、育ちにくい環境にある（この時期にある看護師は子育て真っ最中の方が多い）

医療センターや中部病院から研修に出てもらった専門看護師を他の県立病院へ転勤という環境をとったほうが各病院に万遍なく人の補充が行えるのではないかと思います。

3 離島においても本島と同じような治療を受けることができるようにしてほしい、平等に。

- ① 経済的面で負担（治療費・交通費など）軽減
- ② 医療機関の整備（手術・放射線治療など）、医師看護師の配置（専門的な）
- ③ ネットワークの拡大と関連機関との連携強化
情報収集、提供しやすい体制づくり
- ④ 相談支援
 - ・ 適切なアドバイスのできるように職員を育てる（研修など）
 - ・ SWの配置

4 緩和ケアができるような医療機関の設立

- ・ ペインコントロール
- ・ 家族と共にすごせるような環境づくり

5 県が行うべき施策の

(2) 相談支援体制の整備として 宮古八重山に相談支援センターの体制作りについて

専門、認定看護師育成の見通しがない現状と地域連携室 のSWの採用形態は嘱託という条件下の離島においては応募者がいない現状、相談室勤務で研修をうけ育成していく 見通しがない現状。

(3) の④ 地域での推進の具体策が必要